

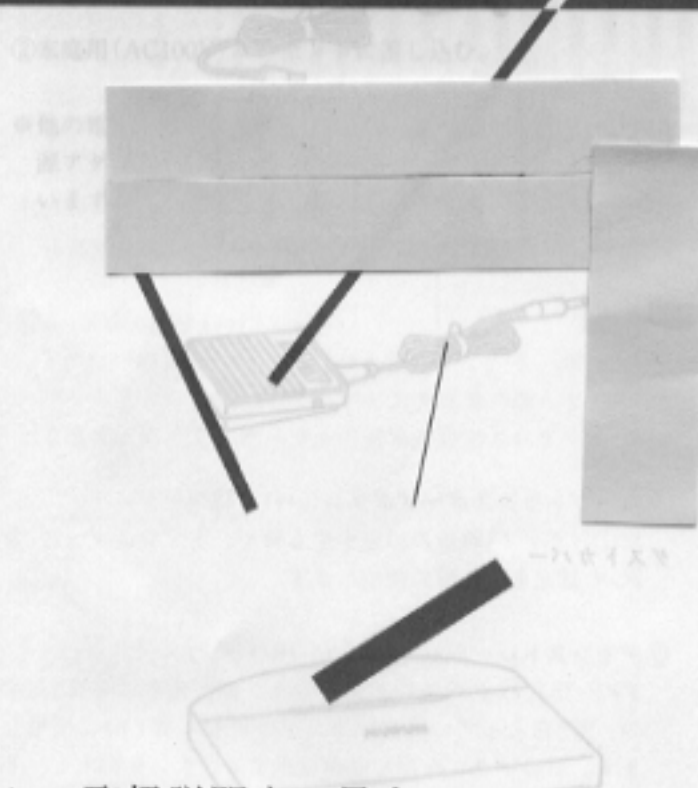
YAMAHA

PERSONAL ELECTRONIC PIANO

YPP-15

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・パーソナルエレクトロニックピアノYPP-15をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。



この取扱説明書の見方

本書は、少しずつステップを踏んで読んでいただけるような構成になっています。従って、基本的には前の方からご覧ください。また、次のような見方をされるのも便利です。

全てをご理解いただいた後は……

“もくじ”を見て目的に合った所をさがす。

ボタン等のはたらきが分からなくなった時……

“各部の名称とはたらき”を開いて調べる。
さらに詳しく知りたい時は、そこに記載してある参照ページを見る。

もくじ

ページ

1. ご使用の前に

- 1. ご注意……………1
- 2. 付属品……………1
- 3. 電源のしたく……………2

2. 各部の名称とはたらき

- 1. 操作パネル……………3
- 2. 付属端子……………4

3. 鳴らしてみよう

- 1. 好きな音色で弾く……………5
- 2. デモ演奏を聴く……………6
- 3. 演奏に効果を加える(ダンパー)……………8
- 4. メトロノームに合わせて弾く……………9
- 5. 音程を変える(トランスポーズ)……………11

4. その他の機能

- 1. 他の楽器と音程を合わせる
(マスターチューニング)……………12
- 2. 他の機器と接続する……………13
- 3. MIDI機能を使う……………14

5. 資料

- 1. オプション(別売品)のご紹介……………19
- 2. 仕様……………20
- 3. おかしいな?と思ったら……………21
- 4. 保証とアフターサービス……………22

1. ご使用の前に

1. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所。
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。傷がついたり、故障の原因になることがあります。
- ・スタンドを取り付けた状態で倒したり、壁にぶつけないでください。

使わない時は…



- ・必ず電源を切ってください。
- ・電源アダプターを、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で濡らした布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上には置かないでください。張り付いてしまうことがあります。

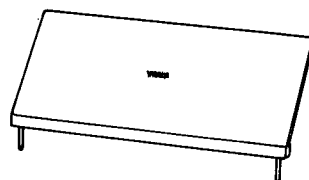
保管してください。



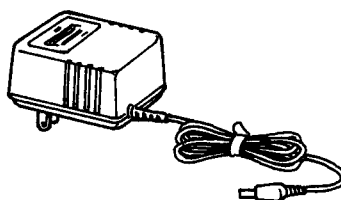
- ・この取扱説明書をお読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

2. 付属品

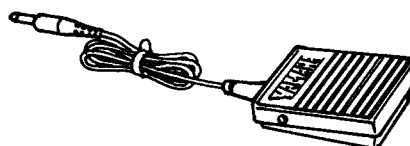
譜面立て



電源アダプター



ダンパーペダル



ダストカバー



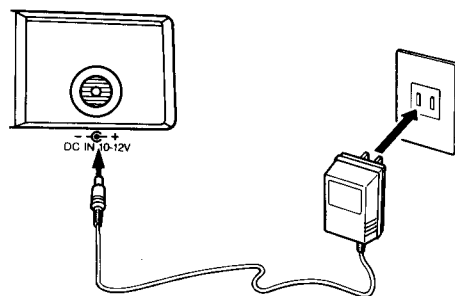
3. 電源のしたく

YPP-15は、家庭用コンセントでも乾電池でも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んで準備してください。

家庭用コンセントから電源を取る場合

付属の電源アダプターPA-3を使用します。図のように接続してください。

- ①背面パネルにある電源アダプター接続用端子(DC IN 10-12V)へ差し込む。

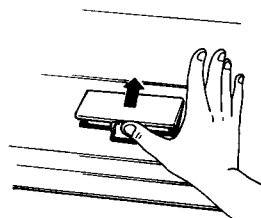


- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。

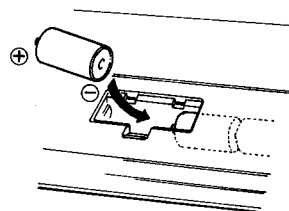
※他の電源アダプターは絶対に使わないでください。他の電源アダプターの使用による障害は保証しかねる場合もございますので、ご注意ください。

乾電池を使う場合

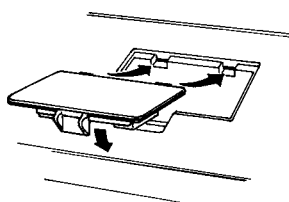
- ①YPP-15を裏返し、電池ブタを外します。



- ②市販の乾電池(単1乾電池)6本入れます。向きを間違えないように入れてください。



- ③電池ブタを閉めます。



※電池が少なくなりますと、音が歪んだり、途切れたり誤動作するようになります。このような時は、6本共新しいものと交換してください。

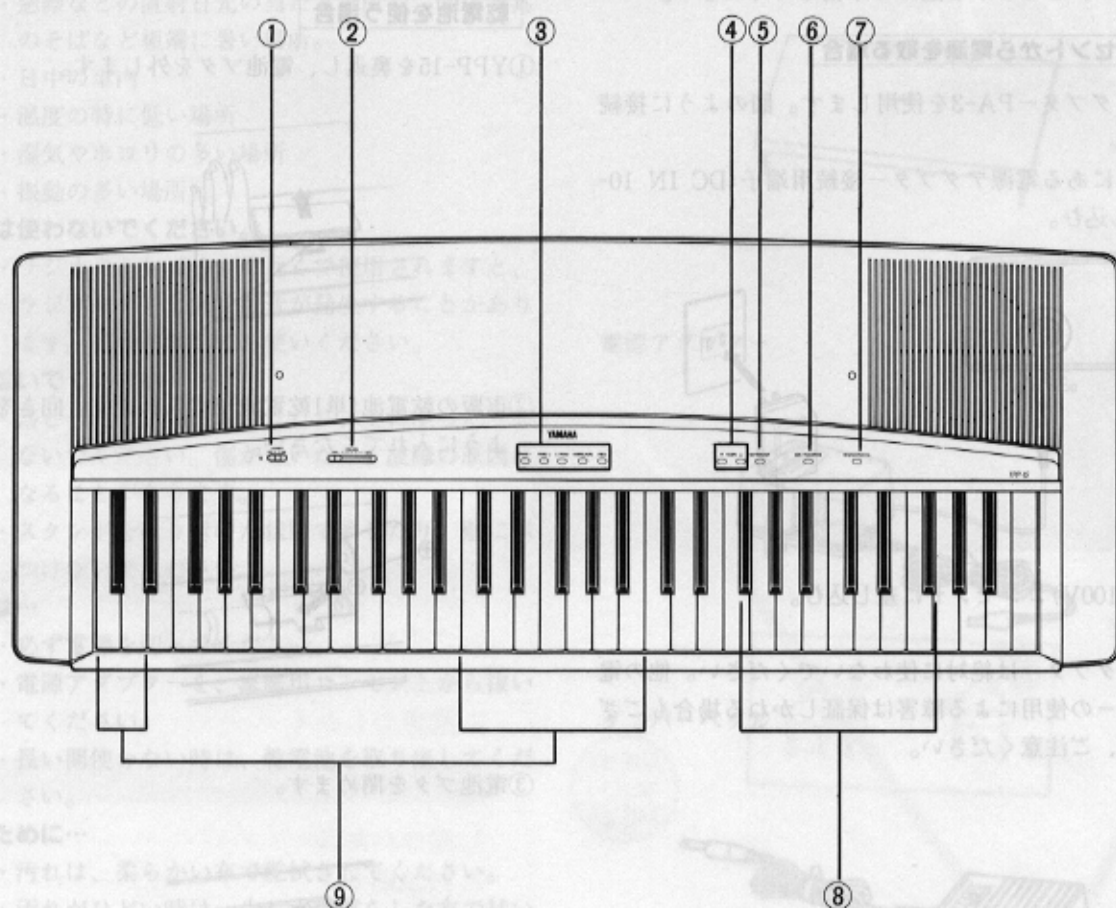
お買い求めの際、乾電池は単1乾電池6本とご指定ください。
※乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるように切り替わります。

※古い乾電池や種類の違う乾電池を組み合わせず使わないでください。

2 各部の名称と働き

→ページに詳しく説明してあります。

1. 操作パネル



①電源(ON/OFF)スイッチ(→5ページ)

このスイッチをONの位置にすると電源が入り、OFFの位置にすると切れます。電源が入ると、電源(ON/OFF)スイッチ横のランプが点灯します。

②ボリュームレバー(→5ページ)

全体の音量を調節するためのレバーです。

③音色ボタン(→5ページ)

演奏に使う音色を選ぶことができます。

④テンポ(△、▽)ボタン(→9ページ)

メトロノームの速さを調節するためのボタンです。

⑤メトロノームボタン(→9ページ)

このボタンを押すと、メトロノームが鳴り出します。メトロノームが鳴っている時に、もう一度このボタンを押すと、メトロノームは止まります。

⑥MIDI/トランスポーズボタン(→11、15ページ)

MIDI(ミディ)機能の設定をする時や、トランスポーズ(移調)の設定をする時に使用します。

⑦デモンストレーションボタン(→6ページ)

YPP-15にはデモンストレーション曲が音色ごとに1曲ずつ、計5曲入っています。そのデモ演奏を聴く時に使用します。このボタンを押しながらボイスボタンを押すと、その音色のデモ演奏が聞けます。

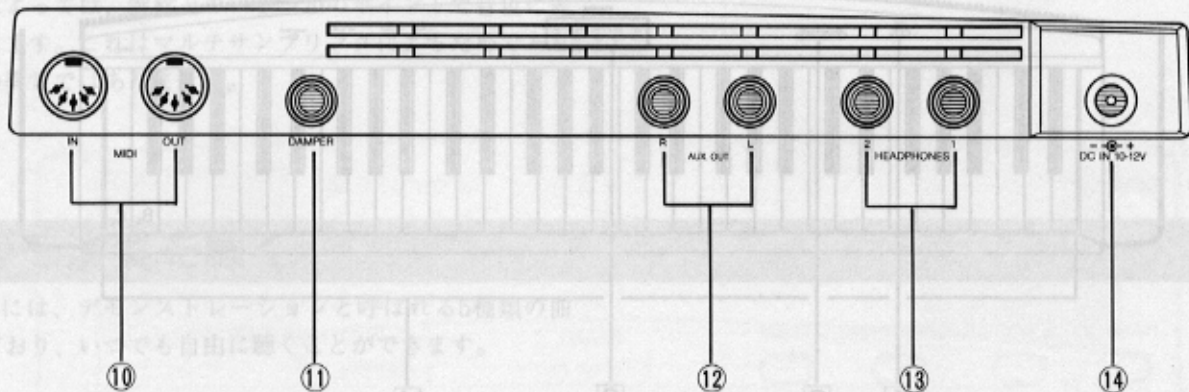
⑧トランスポーズ用鍵盤(→11ページ)

MIDI/トランスポーズボタンを押しながらこの音域の鍵盤を押すことで、トランスポーズ(移調)の設定をします。

⑨マスターチューニング用鍵盤(→12ページ)

この音域の鍵盤を使うことで、他の楽器とアンサンブルを楽しむ時など、微妙な音程の調節をすることができます。

2. 付属端子



⑩MIDI(IN、OUT)端子(→14ページ)

他のMIDI(ミディ)機器と接続するための端子です。他のMIDI機器と接続すると、MIDI機能を使えるようになります。

⑪ダンパーペダル接続用端子(→8ページ)

付属のダンパーペダルを接続するための端子です。

⑫AUX出力端子(→13ページ)

YPP-15の音を外部に出力する端子です。キーボードアンブやステレオと接続して、より大きな音で鳴らすことができます。ただし、モノラルの信号が出力されます。

⑬ヘッドホン端子(→13ページ)

ヘッドホンを接続する端子です。2本まで接続することができます。ヘッドホンを使うとYPP-15のスピーカーからは音が出なくなりますから、夜間でも回りに迷惑をかけることはありません。

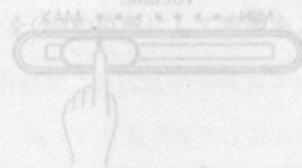
⑭電源アダプター接続用端子(→2ページ)

付属の電源アダプターPA-3を接続するための端子です。PA-3を接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をとって使用できるようになります。

①電源を入れる



電源(ON/OFF)スイッチを「ON」にします。



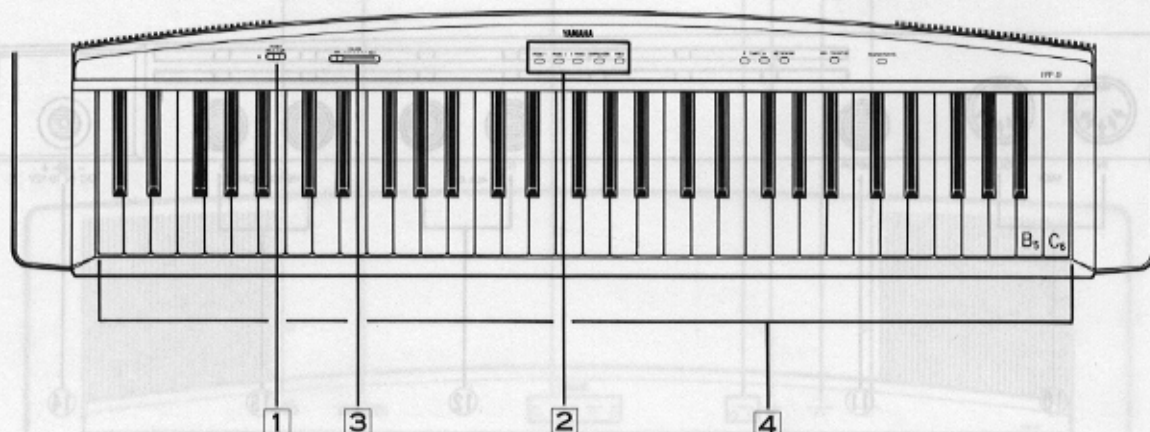
演奏



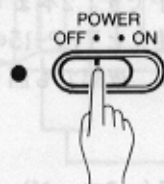
3. 鳴らしてみよう

1. 好きな音色で弾く

YPP-15には5種類の音があります。いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。



1 電源を入れる



電源(ON/OFF)スイッチをONの位置にして電源を入れます。

2 音色の指定

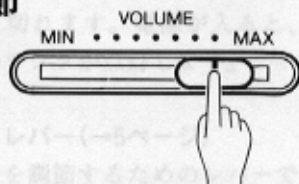
PIANO 1 PIANO 2 E. PIANO HARPSICHORD VIBES



音色を選んで音色ボタンを押します。

※電源を入れた直後は、PIANO 1の音色になっています。

3 音量調節



ボリュームレバーで音量調節します。

4 演奏



好きな曲を弾いてみましょう。

※音の大きさは、鍵盤を弾くタッチの強弱に応じて変化します。

(抑揚の表現が可能です。)

なお、音色によってこの感度は異なりますが、3段階の中で感度を切り替えることができます。

【感度の切り替え方法】

最高音部の2音(B₅とC₆)の鍵盤を同時に押しながら、次のいずれかのボタンを押します。(電源ON時は、感度2になっています。)

PIANO 1・・・感度1

PIANO 2・・・感度2

E. PIANO・・・感度3

※いろいろな音色に切り替えて弾いてみましょう。

※最大同時発音数は、音色によって異なります。

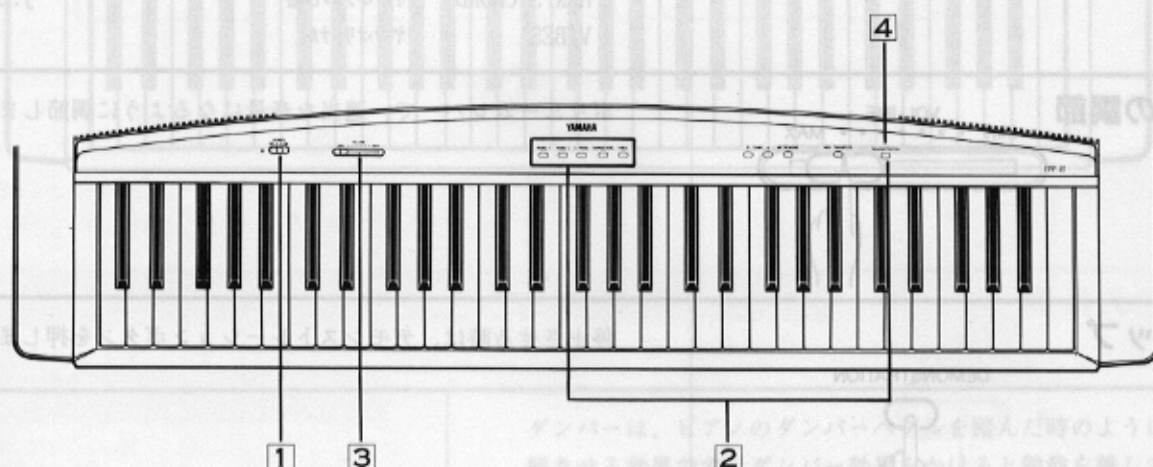
PIANO 2.....14音

その他の音色.....16音(ただしダンパーペダルを踏んでいる時には28音)

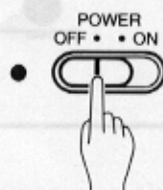
※音色によっては、鍵盤上のいくつかのポイントで音色に差が生じます。これはマルチサンプリングによるためであり、本体の異常ではありません。

2. デモ演奏を聴く

YPP-15には、デモンストレーションと呼ばれる5種類の曲が入っており、いつでも自由に聴くことができます。



1 電源を入れる



電源(ON/OFF)スイッチをONの位置にして電源を入れます。

2 曲をスタートさせる

デモ演奏を連続演奏させる時

DEMONSTRATION

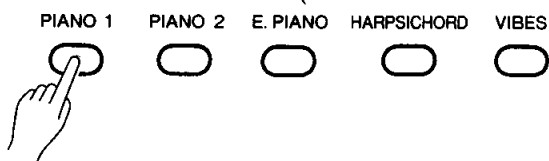


ある音色のデモ演奏だけを聴く時

DEMONSTRATION



押しながら

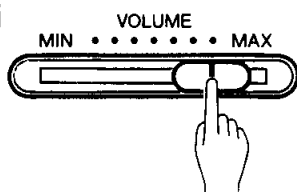


5曲のデモ演奏を順番に連続演奏させたい時は、デモンストレーションボタンだけを押ししてください。

ある音色のデモ演奏だけを聴く時は、デモンストレーションボタンを押しながら、聴きたい音色の音色ボタンを押します。

音色	曲名	作曲者
PIANO 1	ピアノソナタ K.331 イ短調 第1楽章	W.A.モーツァルト
PIANO 2	合奏の時 ハ短調 OP.94の3	シューベルト
E. PIANO	ヤマハオリジナル	——
HARPSICHORD	インベンション8番	J.S. バッハ
VIBES	ヤマハオリジナル	——

3 音量の調節



ボリュームレバーで、適当な音量になるように調節します。

4 ストップ

DEMONSTRATION



停止させる時は、デモンストレーションボタンを押します。

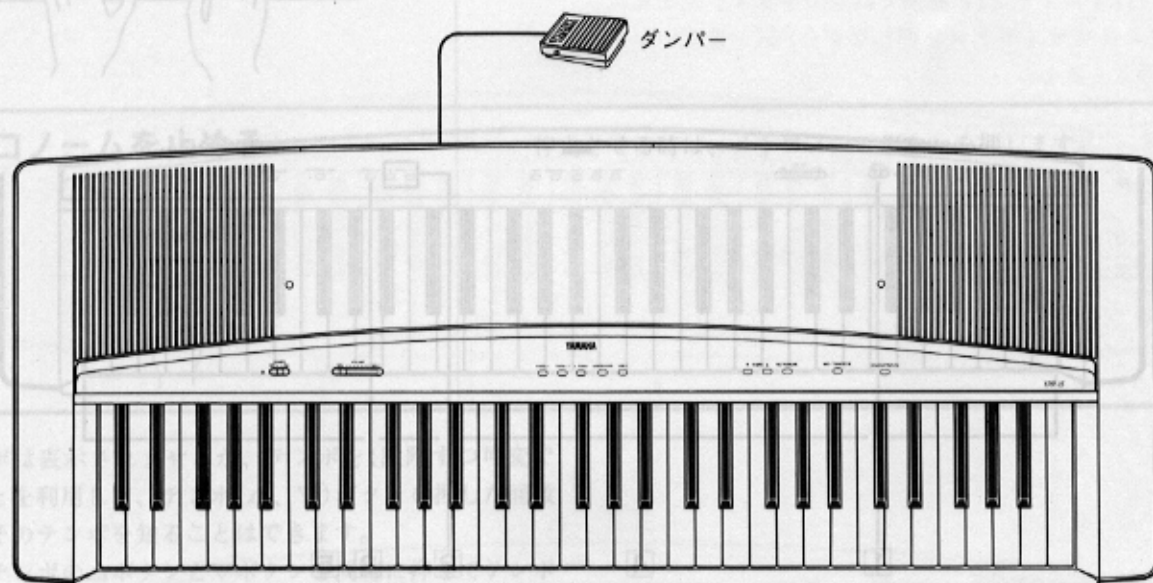
※デモ曲を聴きながら、演奏することもできます。

※デモ曲の音色やテンポを変更することはできません。

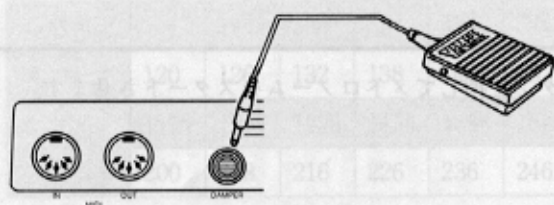
※デモ曲のトランスポーズ設定は、演奏停止時に行ってください。

3. 演奏に効果を加える(ダンパー)

YPP-15には、ダンパーという効果があります。これは、演奏を引き立てる役目をするものです。



120	116	112	108	104	100	96	92	88	84	80
76	72	68	64	60	56	52	48	44	40	36



ダンパーは、ピアノのダンパーペダルを踏んだ時のように、音を持続させる効果です。ダンパー効果をかけると鍵盤を離しても音が切れず、効果的に使うと和音を豊かに響かせることができます。ピアノを演奏する上でとても大切な効果です。

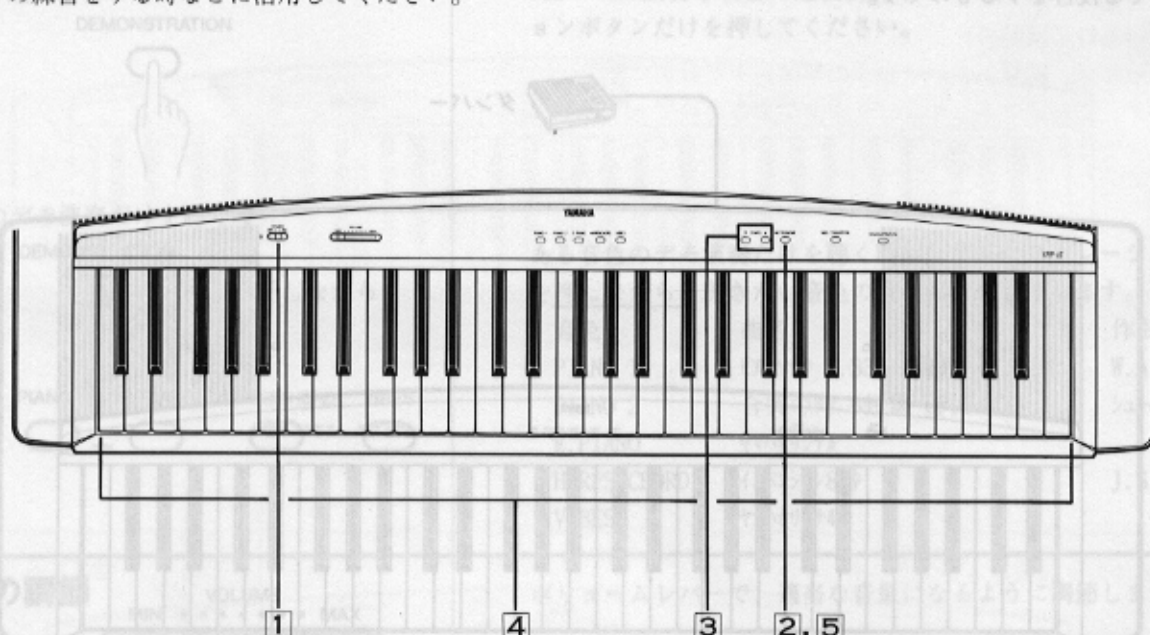
ダンパーペダルを踏むとダンパー効果がかかり、鍵盤を離した後も音が消えずに持続します。

ダンパーペダルを離すと、それまで持続していた音が消えます。

※音が持続している間も、徐々に音量が小さくなっていきます。

4. メトロノームに合わせて弾く

YPP-15には、演奏の補助機能としてメトロノームがあります。ピアノの練習をする時などに活用してください。



1 電源を入れる

電源(ON/OFF)スイッチをONの位置にして電源を入れます。



2 メトロノームをスタートさせる

メトロノームボタンを押してメトロノームをスタートさせます。



3 テンポの調節

テンポ(△、▽)ボタンを押してテンポを調節します。

△ボタンを押すと一段階速いテンポになり、▽ボタンを押すと一段階遅いテンポになります。押し続けると連続して変わります。

※テンポの可変幅は、♩=40~280です。

※△ボタンと▽ボタンを同時に押すと、テンポは♩=120になります。

※電源を入れた直後、テンポは♩=120になっています。



5. その他の機能

4 演奏



メトロノームに合わせて弾いてみましょう。

5 メトロノームを止める

METRONOME



停止させる時は、メトロノームボタンを押します。

※テンポは表示されませんが、テンポを1段階ずつ可変できることを利用して、テンポ(△、▽)ボタンを押した回数でおよそのテンポを知ることはできます。

まず、テンポの△ボタンと▽ボタンを同時に押してテンポを♩=120にしてから、テンポ(△、▽)ボタンを回数を数えながら押し、下の表で今のテンポを調べてください。

▽ボタン		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
テンポ	120	116	112	108	104	100	96	92	88	82	76
▽ボタン	11回	12回	13回	14回	15回						
テンポ	70	64	56	48	40						

△ボタン		1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回
テンポ	120	126	132	138	144	152	160	168	176	184	192
△ボタン		11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	19回	
テンポ	200	208	216	226	236	246	256	268	280		

テンポ(△、▽)ボタンを押し続けるとテンポは連続して変化しますので、ご注意ください。

MIDI/TRANSPOSE



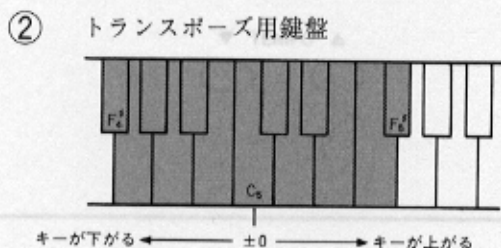
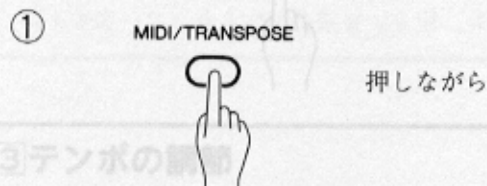
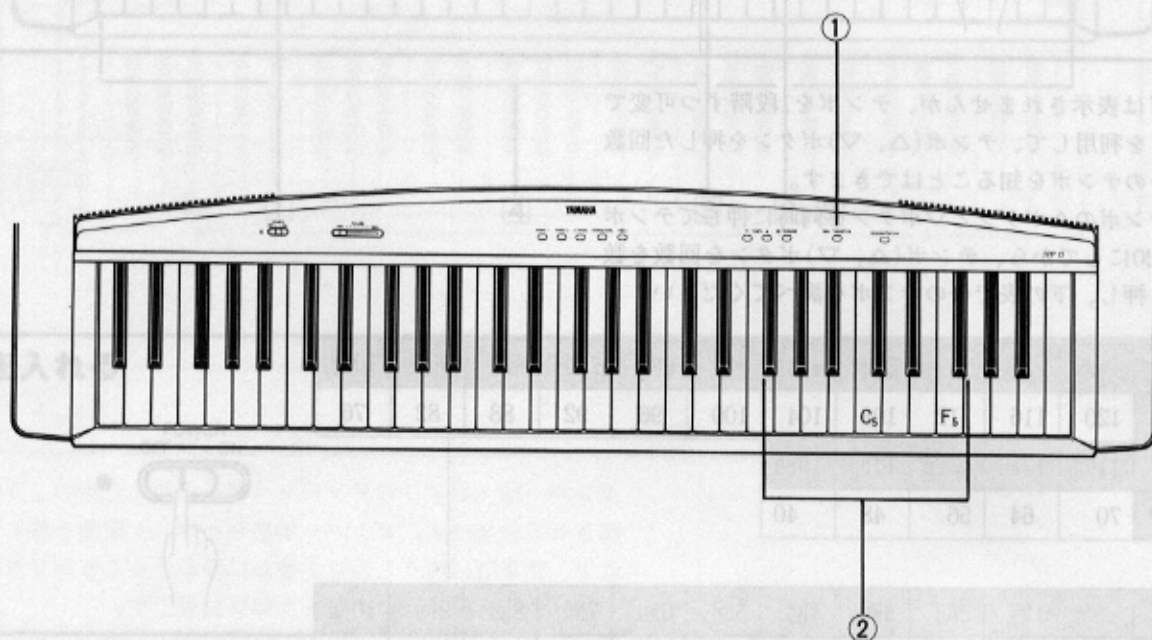
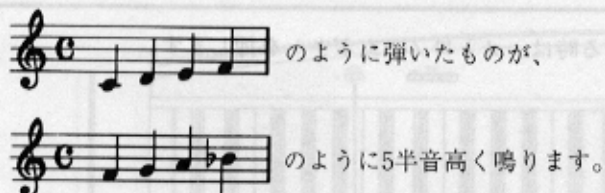
さなさし



さなさし

5. 音程を変える(トランスポーズ)

押さえる鍵盤を(運指)を変えずに、歌う人の声の高さにキーを合わせる。つまり移調(トランスポーズ)することができます。(弾く高さとは異なる高さで、ずらすことができます。) ±6半音(±1/2オクターブ)の範囲で設定できます。たとえば、MIDI/トランスポーズボタンを押しながらF5(一番高いファの鍵盤)を押さえると、



移調量を設定します。

- ①MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、
- ②トランスポーズ用鍵盤F#4 (F#4) ~ F#5 (F#5) のいずれかひとつを押せば、そのキーに移調されます。

△ボタンを押すと一段階高いテンポになり、▽ボタンを押すと一段階元の高さに戻すには、MIDI/トランスポーズボタンを押しながら、ド(C5)のキーを押さえてください。

※電源を切ると、元の高さに戻ります。

※デモ曲の再生中には設定できません。